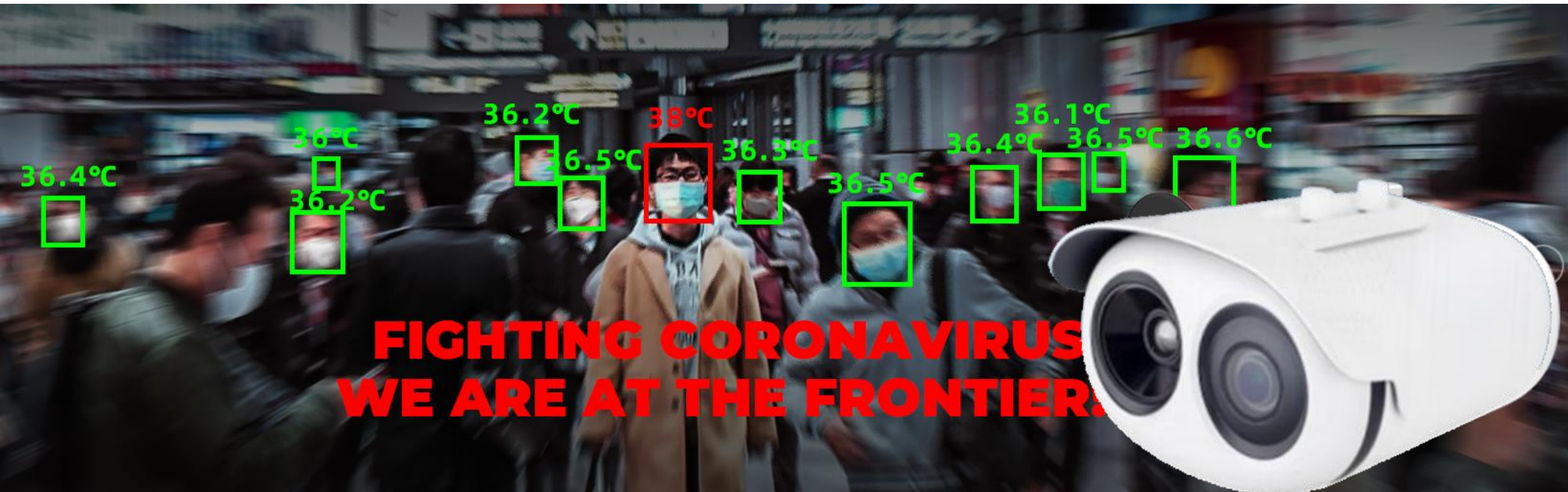


体温表示システムのご提案

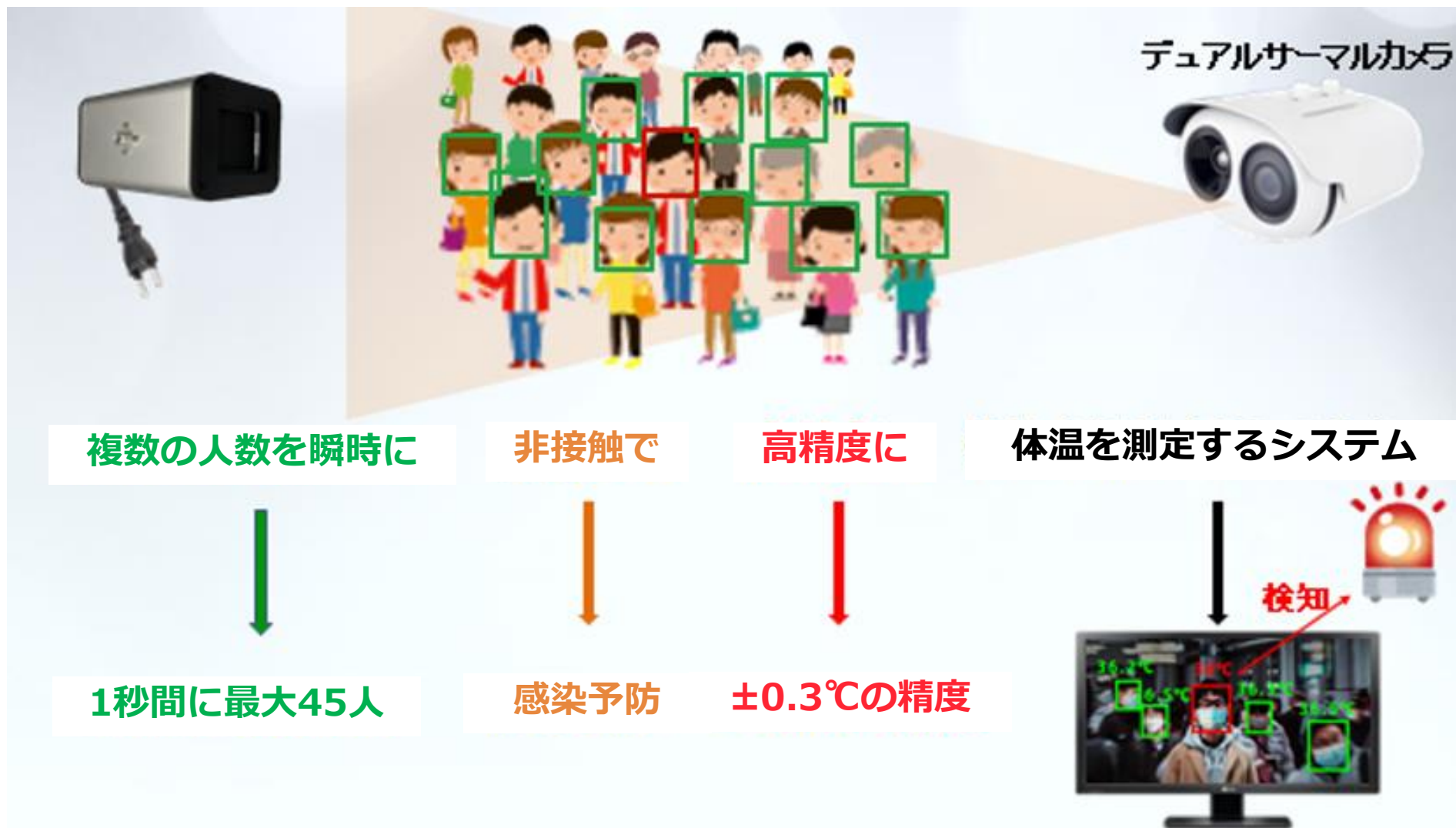
Face temperature indicate system



2020年6月

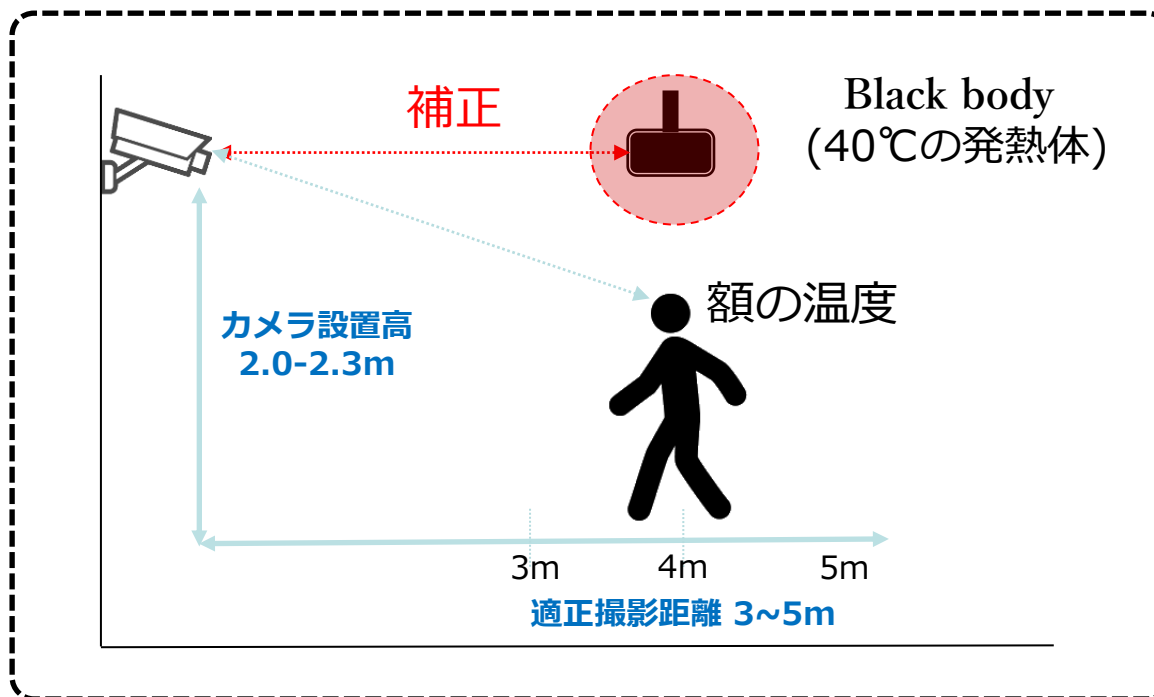
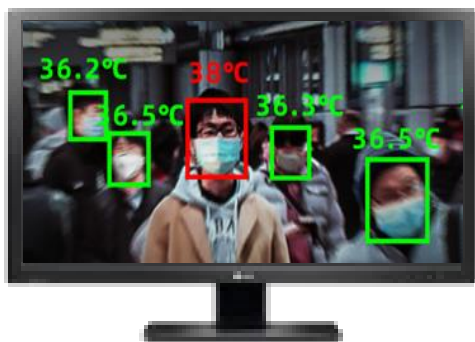
株式会社エフォートシステム

1. 体温表示システムの紹介



2. システムの概要

デュアルサーマルカメラ



- ① AIは、サーマルカメラによるBlack bodyの温度測定値を基に、当該環境における誤差を計算
- ② AIは、CCTVの映像をもとに顔を検出(人を検知)
- ③ サーマルカメラにより額の温度を測定
- ④ AIは、額の温度に対し、①の環境誤差を補正して画面に測定結果を表示(精度 $\pm 0.3^{\circ}\text{C}$)
- ⑤ AIは、1秒間に45人の処理能力を有している
- ⑥ 設定したアラーム温度を超えた人物を検知した場合は、画面赤枠表示、アラーム録画、メール配信(メッセージ+静止画)機能により運用者へ通知

① 非接触

ハンディータイプの測定器では精度確保のために1m以内の測定が必要であり、測定者及び被測定者共に感染の危険性が有る。

② 高精度

AIの搭載により、設置環境により生じる誤差を補正し、医療用体温計の測定値に対して $\pm 0.3^{\circ}\text{C}$ の精度を確保している。

③ 瞬時に測定エリア内の多数を計測

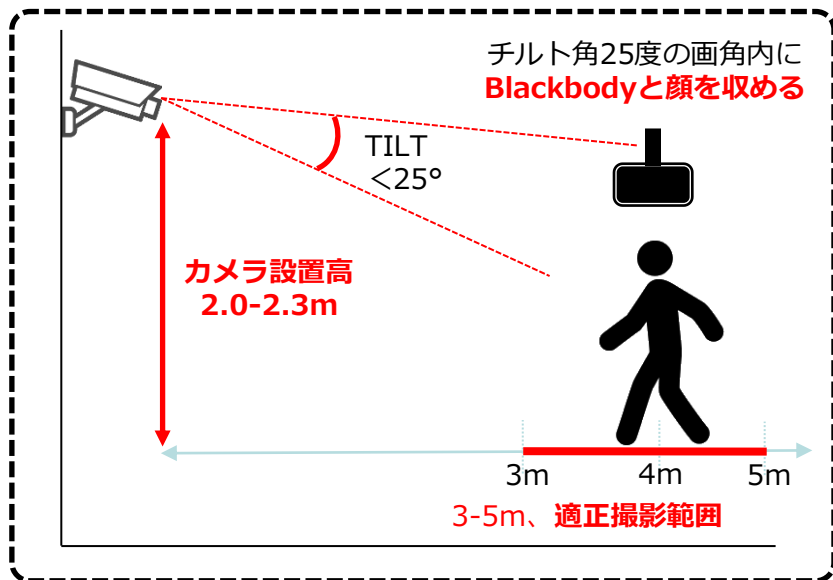
AIのもつ1秒間に45人の処理能力により、同時に多人数の測定を可能とし、ハンディータイプの一人ずつの測定の様な被測定者の動線の滞留を生じない。

④ アラーム機能で自動判定

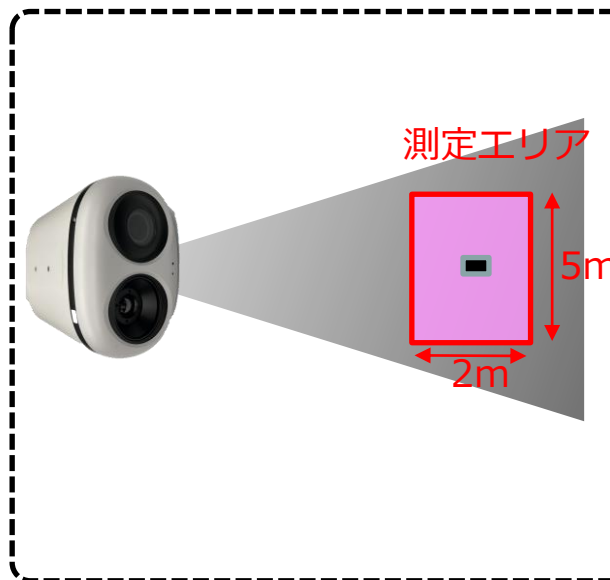
アラーム温度の設定により、発熱者の自動検知及び通知が可能。
接点出力機能を有するので、パトライト点灯等、他のシステムとの連携も可能。

精度を確保するための運用要領

①適切な測定環境の設定



②測定エリアへの誘導



③カメラを向かせる

- ・カメラを向かせる
(注意書き、目印)
- ・額を塞がない
(帽子、前髪)

屋内運用が原則

5. システム運用イメージ

当施設は、お客様の健康管理のため、入場者の体温を測定しております。
ご入場の際は、脱帽のうえ、正面の撮影エリアにお進み下さい。
撮影エリアでは、額を出して、顔をカメラに向けて下さい。
当施設では、体温37.5℃以上のお客様のご入場をお断りする場合がございますので、予めご了承下さいませ。

動線



測定状況のモニター



常時監視

発熱者へのお声がけ



再測定等



6. オペレーション比較

【ハンディーによる計測】



【体温表示システム】



オペレーション	動きながらの測定は困難 移動～停止～測定～確認～次へ移動	低速なら移動中測定が可能
計測速度	5秒/人	0.02秒/人 (45人/秒)
計測オペレータ	計測レーン数に応じた人員が必要	計測エリアに1名程度

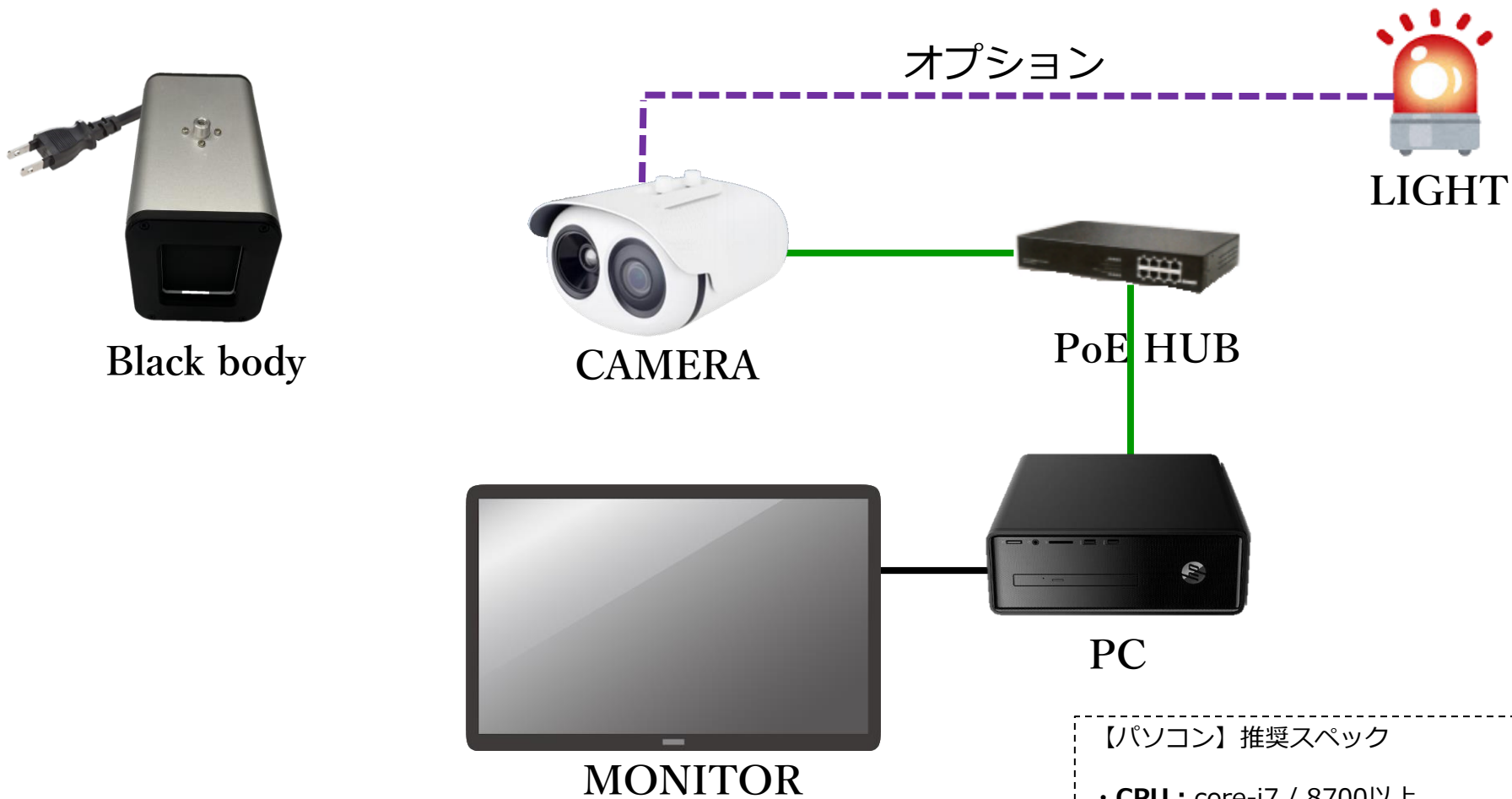
少ないオペレータ数

1秒間に最大45名

移動者でも瞬時に測定

本システムは、通過量の多いシチュエーションに最適

7. システム構成



- 【パソコン】推奨スペック
- ・ CPU : core-i7 / 8700以上
 - ・ メモリ : 8GB以上
 - ・ HDD容量 : 録画設定期間による
 - ・ グラフィックボード : GTX-1080以上

株式会社エフォートシステム 営業部

〒730-0845

広島県広島市中区舟入川口町21-7

電話:082-503-6222 FAX:082-503-6223

<http://www.eft.co.jp>

担当：吉岡 寛人

E-mail:yoshioka@eft.co.jp